

# 令和5年度 長崎県立佐世保北高等学校「ふるさと教育」体系図

テーマ

SAKITA × SDGs ACTION (Polaris plan)

目標

佐世保市や地元の事業所、大学の専門家の助言を受けつつ、課題解決型学習に取り組み、生徒が地域課題の解決策を発信する。また、「持続可能な世界を実現するための国際目標」の達成に向けて、本校の教育活動、特に「地域をフィールドとした学習」を通して、その創成に貢献する。

育成したい  
資質・能力

ふるさとへの  
愛着と誇り

思考力、判断力、表現力  
コミュニケーション能力

学びに向かう  
主体性・協働性

ふるさとの未来を担う志  
リーダーシップ

外部連携機関  
(行政機関・事業所)

○ 佐世保市役所文化振興課  
○ 佐世保市役所環境保全課

○ 佐世保市環境政策課  
○ 長崎県県北振興局

など

長崎県立佐世保北高等学校

(普通科1・2・3年、生徒数694名)

佐北ふるさと教育連携協議会 (略称：S・F・C) \*必要に応じて開催する  
〔委員長〕校長、〔副委員長〕高校副校長、教頭◎がチーフ  
◎研究主任、総務主任、進路指導主事、1, 2, 3学年主任、佐世保市役所担当者、県北振興局担当者、長崎県立大学担当者、長崎国際大学担当者、県教委高校教育課ふるさと教育担当者

<主な取組>

- 3年生深める (自分)
  - (1) 2年間に行った課題研究の振り返りを班で行い、興味・関心に沿った論文テーマを最終決定
  - (2) 論文執筆に関するガイダンス後、執筆開始～推敲～添削～完成  
学年全員分を1冊に製本し、継続的に保管、他学年の生徒も参照できるようにする
- 2年生関わる (地域・世界)
  - (1) 個別 (個人・グループ) に探究テーマを設定し、高1の内容を深化
  - (2) 研究計画書を作成、調査研究等の活動、パワポ・ポスター等を利用して、プレゼン発表
  - (3) 高3時の論文作成に向けて、研究成果を総括し、記録
- 1年生拓く (自分・地域・世界)
  - (1) SDGsの概要についてのガイダンス
  - (2) 生徒各々が設定した興味のあるテーマについて、SDGsに関連させながら情報収集
  - (3) PCを利用してスライド作成を行い、グループクラス→学年の順にプレゼン発表、相互評価
  - (4) 「県内企業説明会」を行い、地元の優れた企業の実践例や地域特性について学習

成果指標

- ①ふるさとの未来を担う志・リーダーシップ②探究活動を通しての思考力・判断力・表現力③グループ活動を通じたコミュニケーション力・協働性④持続可能な社会の形成と地域の発展に向けて自ら学びに向かう主体性⑤郷土と国際社会をつなぐグローバルな視点
- (1) 育成したい資質・能力 (上記項目①～⑤) の向上がみられた生徒の割合70%以上
  - (2) 生徒に求める資質の向上に資するよう他と協働、連携が図れた教員の割合70%以上

外部連携機関  
(大学・専門機関)

○ 長崎国際大学  
○ 長崎県立大学  
○ 長崎県歴史文化博物館

地域社会 (保護者を含む住民、産業、文化、歴史等)